

労働環境改善宣言！ 介護現場の腰痛リスクを見える化

Malpos Major[®]

マルポスマジャー

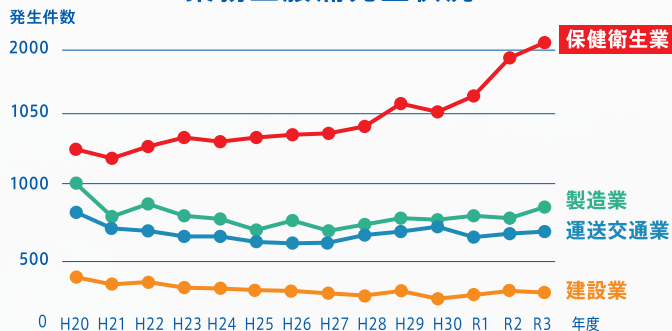
介護施設での労働災害の主なものの一つである「腰痛」のリスクについて、腰痛が発生する可能性が高い介助の時間帯や頻度を測定し明らかにすることができるIOTシステムです。



介護業界の 人材不足と腰痛問題

スタッフの身体的負担を減らすことは、すなわち労働環境を改善すること。介護業界では腰痛が原因で離職を余儀なくされるケースが多く、介護職の人材確保という面から対応が急がれます。腰痛リスクを見える化し、一歩踏み込んだ、労働環境改善を考えてみませんか？

業務上腰痛発生状況



※厚生労働省統計表より抜粋

2ステップで簡単！ 装着して勤務するだけ

入浴介助でも
計測できる
防水性能

step.1

計測

センサー本体を専用ベルトに入れ、介護職員に装着していただきます。アプリでセンサーに接続し、計測開始ボタンを押したら、業務を開始していただきます。

step.2

見える化

計測後のデータはクラウドで管理され、専用サイトで腰痛が発生する可能性が高い介助の時間帯や頻度を表示します。



何を測っているの？

- ・ 前傾回数
- ・ 1回の前傾平均時間
- ・ 前傾合計時間
- ・ 前傾中のひねり回数
- ・ 1回のひねり平均時間
- ・ ひねり合計回数

これらはすべて腰痛リスクの分析に重要な役割を果たす指数ばかり。前傾は 20°以上を1回、ひねりは 20°以上の前傾時に左右へ 5°回旋することで1回とカウントされます。この回数は時系列に沿って取得されますので、計測した介護職員の1日の業務記録と照らし合わせると、例えば入浴介助やオムツ交換の際は前傾回数が多い、記録作業の時はあまり前傾していないことがわかります。1日の業務時間の中でどれくらい中腰姿勢、またそのままひねる姿勢が潜んでいるのを見える化することができるのです。さらに、不良姿勢をブザー音で知らせることができ、リアルタイムで腰痛リスクのある姿勢を認識することができます。トレーニング用にもご利用いただけます。

まずは現状を知ること！

Malpos Major® を活用して腰痛リスクを見える化することにより、介助の場面を中心に労働環境の見直しが可能となります。日頃の業務にどのくらい不良姿勢が発生しているのか、どの業務や介助場面で腰痛リスクが高いのかなど、現状把握ができます。計測した結果はCSVファイルに出力することも可能。Malpos Major® はデモのご利用が可能です。ご関心がある方は、是非ご一報ください。

クラウド内の
蓄積データから
平均値を表示！



詳しくは、お問い合わせください

JCLS
Embrace with Future

製造・販売元

日本ケアリフトサービス株式会社
Japan Care Lift Service Co., Ltd.

☎ 0120-188-027

(受付時間 / 平日9:00~17:00)

〒664-0871
兵庫県伊丹市堀池 5-1-8

☎ 072-777-8857

✉ info@j-carelift.com

🌐 <https://www.jcls.jp>



-WEB-

2024.08